

広報こばやし みんなでてなむ 笑顔あふれる

よじょんよかところ 小林市 2023.DEC

KOBAYASHI 12

No.213



「子育て」って楽しい
おもしろい ✨



市政の動きトピックス

災害に強い安心・安全なまちづくり

大規模地震を想定した図上演習で
初動対応や関係機関との連携確認

10月20日、市役所で防災訓練（災害図上演習）を実施しました。大規模地震災害発生初期の情報の収集・処理・共有や関係機関との連携などの一連の行動を訓練し、災害対処能力向上を目指すもので、訓練では日向灘沖を震源として震度6強の揺れが発生したと想定。道路の寸断や避難者の対応などそれぞれの部署に対して次々と付与される状況に、どのように対応するかを訓練しました。

「健幸のまちづくり」実現に向けて
正しい歩き方で身も心も健康に
ウォーキング教室を開催

10月29日と11月12日、健幸ポイント事業参加者を対象にコスモホール周辺でウォーキング教室を開催しました。（公財）宮崎県健康づくり協会の健康運動指導士田口和歌子さんを講師に迎え、両日で計76人が参加。参加者はウォーキングの効果について説明を受けた後、2人1組で姿勢を確かめたり腕の振り方や靴の選び方などを教わり、会場内を歩いて正しい歩き方を学びました。

陸上は全ての基本。楽しさを伝えたい

小林ジュニアアスリートクラブ
ふるそのじょうじ
古園 譲二 さん (73歳)

野尻地区出身。高校卒業後に自衛隊に入隊し、陸上競技を始める。現在、陸上クラブ「小林ジュニアアスリートクラブ」で指導者として子どもたちの健全な心身の育成に励む古園さんに話を聞いた。

小林ジュニアアスリートクラブで子どもたちに陸上競技の指導をしている古園譲二さん（73歳）。指導者として活動を始めて20年目となった今年、少年少女陸上競技指導者表彰「安藤百福記念章」を受章した。

「受章は非常に光栄なこと。これもひとえに団の役員や保護者の協力のおかげです。感謝しかありません」と振り返る。

古園さんが陸上を始めたのは自衛隊に入隊し1年が経った頃。訓練を兼ねて走り始めて以来、約55年間走り続けている。

「指導者を始めたのは、小林の陸上への恩返し」。

自身の姿を見て陸上を始めた息子たちが、小林高校の駅伝部で日夜練習に励む光景に、そうした気持ちが高まったと話す。「陸上は全ての基本。小

学生のうちに体の動かしか方をしっかり教えることで、中学、高校へつながると、陸上を続ける子にもちろん、違う競技に進む子にとっても必ず役に立つという信条で指導する。

現在、約90人いる団員は、短距離や長距離、跳躍など、さまざまな種目を体験し、自分自身がやりたい種目を探していく。

「一番大事なのは本人が楽しいか。楽しまないと続かない」との思いを強く持ち、子どもたちに陸上の楽しさを伝える。

「子どもたちの成長や笑顔が多く見られるのが幸せ」と笑顔の古園さん。

「もともと陸上と子どものことが好きだから、元気なうちは続けられるだけ続けようかな」。そう話して古園さんは子どもたちの元に笑顔で向かった。

「団員約90人の指導を支えているのは10人のコーチ陣。教え子や元保護者なども指導に来てくれるのでうれしい。最高のコーチ陣」と古園さん

これまで実業団や大学など、全国で活躍する選手を多く輩出してきた同クラブ。現在は毎週（火・木・土）に総合運動公園陸上競技場で活動中です



小林人
こばやしびと
Vol.119

今月の表紙

「子育て」って楽しい、おもしろい



今月の表紙は、子育て特集「気楽にあせらずみんなで子育て」（4～9歳）にあわせた、親子の組み写真です。子育てについて声に出しづらい悩みや不安を抱えている人もいるなかで、それでも「気楽に」そして「あせらず」に子育てを楽しんでほしいとの想いを込めました。



3147 ㊦で生まれた奏輔くん。
現在では15㊦と、すくすく成長中



左から津曲映乃葉さん、奏輔くん、奎輔さん
公園内を走り回る奏輔くんを2人で追いかけていました

子育ては周りを頼って 楽しくのんびりと

「大変なこともたくさんあるけど、楽しんで子育てしています」と笑顔で話すのは、現在3歳の奏輔くんの子育てに奮闘中の津曲奎輔さん、映乃葉さん夫妻。2人とも小林市出身で、地元での子育てを楽しんでいます。

都城市の病院で出産した映乃葉さんですが、妊婦健診は小林市立病院で受診。大きなお腹で10回以上受診する妊婦健診だからこそ、身近な病院で受診でき助かったと話します。

「本当にちゃんとお腹の中にいたんだ」「感動してすごく泣きました」と出産を振り返る2人ですが、出産を期に生活は一変。

「最初は家が散らかり、子どもの世話で一苦労でした」と奎輔さん。「3時間おきの授乳などでゆっくりに寝られない日々が辛かった」と映乃葉さん。

当時は急変した生活に、些細なことでも喧嘩するようになっていたとか。

そんな生活が続いた2人は笑顔で子育てをするため、「周りを頼ること」、そして「がんばりすぎないこと」この2つを意識するようになったと話します。

家からすぐ近くにある奎輔さんの実家から、子育ての手伝いや、ご飯をもらうこともあり、「1食用意しなくて良くなるだけで余裕ができて、助かるんです」と映乃葉さん。

以来、子育てを楽しめるようになった2人。「完璧な子育てはできていないと思うけど、だからこそ楽しめる」と笑います。

「ハイハイや歩くことができるようになったとかそういう瞬間が凄くうれしいんです」「子育ては大変なこと多いけど、それ以上に奏輔はいつも家で私たちを笑わせてくれる」。

これまでの子育てを振り返り、そう話す2人に、子育てを楽しむコツを聞くと、声を揃えて。

「のんびり。気楽に——」。



——気楽にあせらず みんなで子育て——

「子どもはかわいいけれど、子育てが辛い」。「妊婦健診が遠くて大変」。

さまざまな苦勞を抱えながら子育てに奮闘するパパママたちがいるのを知っていますか。

そんな不安や苦勞を少しでも軽くして、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちにするために。

子育て中の人や将来子どもを産みたいと考えている人、子育てを支える地域の人、一度、このまちで暮らす私たち全員で、子育てについて考えてみませんか。

●問 = こども課 TEL 23 - 1278

子どもたちのために何かしたいと考えている方へ

あなたの支援をお待ちしています——

小林市子ども応援基金

安心して結婚し、子どもを生み育て、将来を担う子どもたちが健やかに育つ環境づくりを推進するために創設した、個人や企業、団体を問わず寄付いただける基金です。子どもの貧困対策、少子化対策、子ども・子育て支援事業などに活用されます。



詳細はコチラ↑



みんなで子育てしませんか——

三世代同居等促進事業補助金

親世帯との同居や近居のための転居費用を補助します。



詳細はコチラ↑



こんな支援もあります

妊娠・出産時の経済的負担を軽減——

小林市出産支援金

妊娠1回につき3万2千円を支援します。



詳細はコチラ↑



育児用品をプレゼント——

小林市おめでとう赤ちゃん祝品

紙おむつやおしりふき、木工玩具などを贈ります。



詳細はコチラ↑



新生活支援！最大30万円補助——

小林市結婚新生活支援事業

新婚夫婦の住宅取得費用などの一部を補助します。



詳細はコチラ↑



全国で4社目。女性活躍と子育て・不妊治療への支援に取り組む。

えびの電子工業株式会社 津曲慎哉 社長

市内に生産工場を構えるえびの電子工業株式会社は、従業員約650人の7割近くを女性が占める、自動車やスマートフォン関連の部品生産などを行う企業。

以前から従業員の働き方改革を進めてきた同社は、今年の9月に女性の活躍を進める企業が認定される「えるほし」と、子育てと不妊治療に取り組む企業が認定される「くるみんプラス」に認定。どちらも厚生労働相が認定するもので、最上位評価の「プラチナ」認定を受けました。両認定でプラチナ評価を受けたのは全国で4社目。同社

で取り組んでいる支援は、育休の利用推進や不妊治療の支援休暇制度の新設など多岐に渡ります。

社長自身も育休を取得した経験から、育休の利用推進を進め、昨年度は男女で取得率100%を達成。

「産後の妻が一番つらい時に、頼りにならないといけないと感じました。当時は家族全員大変だったけど、子どもの一番可愛い時期を見られるのは苦しんだ人だけの特権ですよ」当時を笑って振り返る津曲社長。

全国的にも注目を集めている、同社の取り組みのコンセプトは『地元で家族と自分らしく暮らす』。

介護休暇の拡充や、年休取得を昇進の条件に加えるなど、取り組みは子育てに限ったものではありません。「誰もが休みやすい環境を整えることが、結果的に育児もしやすい環境になっているだけ。子育ても介護も家族の対応をするというのには変わりはないから」。

家庭を大切に人は会社でもいい仕事をするという発想で支援を続ける津曲社長。

「この『誰でも休みやすく、家族と自分らしく暮らす』取り組みが地域に広がり、子育てしやすいまちづくりに貢献できたらうれしいですね」と話していました。

負担の大きい妊婦健診。小林市立病院で受診できます。

宮崎大学発達泌尿生殖医学講座産婦人科学分野 川越 靖之 医局長

小林市立病院で妊婦健診を受診できることを知っていますか。宮崎大学、県立宮崎病院から非常勤医師が毎週金曜日に派遣され、妊婦健診、婦人科外来、HPVワクチン（子宮頸がんの予防ワクチン）の接種が受けられます。

妊婦健診の主な目的は胎児の発育とお母さんの状態の確認です。妊娠途中で血圧が上がる場合やむくみが強くなるなど、そういうことが起こっていないか確認するためなので、妊婦健診は必ず受診しましょう。

妊婦健診は全部で14回程度の受診が必要です。自分で運転して遠くの病院に通う人も多いと思います。近くの病院で受診してもらうことで、少しでも負担が減ればという目的で開設していますので、ぜひご利用ください。

市立病院では、健診のみとなるため、「健診の病院と分娩の病院が違うところで大丈夫かな」と不安に思われるかもしれませんが、事前に病院間の連携をとった状態での分娩となりますので安心して受診に来てください。



川越医局長（写真中央）と市立病院産婦人科スタッフ

こんな支援もあります

がんの予防につながります——

子宮頸がん予防ワクチン接種

9価HPVワクチン（シルガード9）を公費で接種できるようになりました



詳細はコチラ！



出産予定の妊婦の不安を軽減——

小林市出産サポート119

緊急の出産時に、妊婦を救急車で産院などに搬送します。（要登録）



詳細はコチラ！



妊娠を望む夫婦をサポート——

不妊検査費助成事業

不妊検査に係る費用を夫婦1組に対し3万円まで助成します。



詳細はコチラ！



知っていますか
～産後ケア～

主な産後ケアの内容



育児の相談



授乳のサポート

◆対象

出産後～1歳になる前日までの産婦

◆利用方法

市保健センターに電話

☎ 23-4319

助産院、助産師が近くにいるよ。



（右）あかり助産院 藤井智子さん
（左）COMODO助産院 花原千尋さん

2人は「小林子育て応援ゆるの会」として、妊娠中の人や乳幼児を子育て中の人などが、安心して楽しく元気になるイベントも企画しています。



☎ K.KOSODATE.CHEER

産後ケアは、産後に心身の不調や育児不安などがある人などが対象のサポート事業です。小林市では、助産師が各家庭を訪問し、授乳や赤ちゃんが泣き止まないなどの悩みを抱える人たちを支えています。

「妊娠、出産というのは環境が大きく変化する、とても大変な期間なんです。小林市で産後ケアを行う助産師の藤井さんと花原さんはそのように話します。

実際、厚生労働省の調査によると、令和3年度は10

人に1人の母親に産後うつ
の疑いがありました。

「もう少し早く来てほしかった——」。実際に産後ケアに訪れた際そう言われたことがあると花原さん。

「お母さん達はみんなが
んばっている。だからこそ
プレッシャーを感じてしま
う方も多い。近所に泣き声
が聞こえないようにとか」。

近年は相談できる人が周
囲におらず、自分たちで調
べて解決しようとする必要以上
にがんばってしまう親が多
いと心配する藤井さん。そ

の結果、ケアを受ける適切
な時期を逃し、不本意な状
況になるケースもあるた
め、「少しでも早く相談し
てほしい」と話します。

「産後は人との会話が減
ることに苦しむ人も多く、
話し相手になること自体が
よろこばれます」と2人。

「出産までは病院に相談
できたのに——」。

どこに相談したらよいか
分かりづらい産後の問題。
一人でがんばりすぎず、
近くの助産師に相談してみ
ませんか。

産後ケアはもちろん、妊娠前～育児の悩みごと助産師として相談を受けます。気軽にご相談ください

あかり助産院

小林市堤 2146-15
☎ 090-2068-3294

COMODO助産院

都城市中町 13-8
☎ 090-5088-3117



子育ては—— たの 楽しく



気らく 楽しく



愛するわが子を育てる。
楽しいことも多いけど、不安
や負担も感じるもの。
その思いや苦しみにみんな
寄り添えるまちななれば、子育
てを「気楽に」、「楽しく」そ
う
思えるパパママが増えるはず。
親の笑顔が子を増えるはず。
私たちが暮らすこのまちを、
もっと子どもたちの笑顔で照ら
される、明るいまちにしてい
きましょう。



11月12日開催「もくもくレース」の様子
1 お友だちのゴールを温かく見守る参加者ら
2 ゴールを喜ぶママと赤ちゃん
3 完走した可愛いわが子にメダル授与
4 レース前に意気込みを話すお兄ちゃん
5 涙を流しながらゴールを目指す赤ちゃん
6 完走メダルは手書きのメッセージ入り

近年、核家族化や地域のつながりの希薄化が進み、家庭や地域で育児の知恵や経験を共有することが難しくなっています。このように親が孤立しやすい環境で重要性が高まっているのが、子どもをゆつくり遊ばせられる、「親子」の、「子ども同士」の、「親同士」のふれあいの場。TENAMUビル2階の木育キッズスペース「もくもく」もその一つです。木のおもちゃで自由に遊べる子育て支援施設で、定期的に親子で楽しめるイベントを開催しています。11月12日にはハイハイレースなどを行う「もくもくレース」と題したイベントも行われ、21組の家族が交流を深めました。パパママだけの子育ては大変です。市内にある「ふれあいの場」に足を運んでみませんか。

パパママの

交流の場

子育てを楽しめる場をつくりたい

子どもたちには、小さいうちにいろいろな経験をして欲しい。そして、孤独なママパパを減らせるような交流の場になればと思い、「もくもくレース」などの親子イベントを企画しています。イベントで知り合い、仲良くなって一緒にお出かけしている様子などを見るのがうれしいですね。子育てのリフレッシュにもなるので気軽に参加しませんか。



STEP STEP25
各種イベント情報



すてっぷすてっぷ
せとやまあいか
瀬戸山愛香さん

こんな支援もあります

子どもの預かりや送迎をサポート—— ファミリー・サポート・センター

子どもを一時的に預けたい時などに利用できるサービスです。



詳細はコチラ！



親子で自由に集える場—— 子育て支援センター

子どもの遊び場であるとともに、保護者同士の交流や育児相談、情報提供など地域の子育て支援拠点のひとつです。

子育て支援センター「おひさま」

◆場所
小林市真方 89-1
(小林市保健センター2階)



子育て支援センター「チポリーノ館」

◆場所
小林市細野 735-1
(認定こども園こぼと保育園内)



野尻のびのび子育て支援センター

◆場所
小林市野尻町東麓 2166-2
(野尻保育園横)



仲間と分かち合う



元気と笑顔

10月22日、澄み渡る秋空の下、『第52回健幸こばやし大運動会』が開催されました。

当日は、地域や職場、学校や団体などをつくる52チームが参加。巨大ビーチボールを打ち上げる回数を競う競技や、ラケットにピンポン玉を乗せて走るリレーなど、大人から子どもまで楽しめるレクリエーション6種目が行われ、市民1500人以上が笑顔で汗を流しました。

会場外では、ウォーキング大会や小林高校ウエイトリフティング部による体験会、市と協定を結ぶ東京大学先端科学技術研究センターによる運動能力や性別などにとらわれない「超人スポーツ」の体験会も実施。

その他、市内スポーツ少年団による大縄跳びや「2027日本のひなた宮崎国スポ・障スポ」の市内実施予定競技であるトランポリンとウエイトリフティングのデモンストレーションも行われ、参加者はスポーツと触れ合う1日を過ごしました。

楽しく体を動かし健幸に秋空にたくさんの笑顔広がる

PhotoReport 第52回 健幸こばやし大運動会

～スポレク2023～

スポーツのまち小林の一大イベント「健幸こばやし大運動会」。市民約1500人が参加した大会の名場面を写真で振り返ります。

			1	
	6		5	2
11	7		8	4
	10	9		
			1	

- ① 競技を楽しむ参加者 ②③ リングにボールを投げ入れるトラックバスケット ④ ラケットでバランスよくピンポン玉を運びリレー ⑤ 小林中斉藤元さんが選手宣誓 ⑥ 50個の玉を入れ終わるまでの早さを競う玉入れ ⑦ じゃんけんの勝敗で距離が変わる大玉転がし ⑧⑨ 2027宮崎国スポ・障スポで、市内で開催予定のトランポリン競技の模範演技。PRのためにみやざき犬おうちちゃんも登場 ⑩ センサー付の刀で勝負する「サッセン」の体験会。東大先端研との連携で開催（超人スポーツ） ⑪ 巨大ビーチボールを13人でリフティング



小林市郷土芸能フェスティバル



ふるさと 郷土の誇りを次世代へ

第7回小林市郷土芸能フェスティバルが、11月12日に文化会館で開催されました。郷土芸能フェスティバルは、市内各地で受け継がれてきた伝統芸能が一堂に会し、披露されるイベント。本来3年に1度開催されてきましたが、新型コロナウイルスによる中止を挟み、6年ぶりの開催となりました。

受け継いできた舞や踊りを市内8つの団体が披露

小林市郷土芸能保存会連合会に所属する8団体が出演したほか、特別ゲストで国指定無形民俗文化財の「祓川神楽」(高原町)も出演。市内外から約350人が来場し、各団体が地域で舞い継がれてきた郷土芸能を披露すると、会場は大きな拍手に包まれました。

また、演目の最後には、野尻地区出身で江戸太神楽師(曲芸師)として国内外で活躍する仙若さん・若遥さん親子も特別出演。華麗な技で会場を沸かせました。



①岩戸神楽 (堤・水流迫)

350年以上前から舞い継がれてきた小林で現存する唯一の神楽です。五穀豊穡と稔りに感謝し、毎年7月30日岩戸神社で行われる夏の大祭(六月灯)で披露されています。

②紙屋城攻め踊り(野尻町紙屋)

戦国時代、伊東氏と島津氏は城の争奪に明け暮れました。その様子が江戸時代の社会安定期に唄や踊りに表現され、城攻め踊りが発生したと考えられています。

③真方一区兵児踊(真方)

島津・伊東両氏の争いで、島津氏が士気を鼓舞するために各種の戦法を取り入れ、法螺貝・太鼓を鳴らして踊らせたのが起源と伝えられています。また、島津氏は兵児踊りとおして日頃の士風の鍛錬に励んだともいわれています。

④東方輪太鼓踊り(東方)

豊臣秀吉の朝鮮出兵で島津氏が各地で勇戦敢闘し、士気を鼓舞するため鐘や太鼓を打ち鳴らして戦い大勝利したといわれています。この勇壮な様子を舞踏化したものが輪太鼓踊りの起源です。

⑤剣舞一の谷(須木麓)

源平合戦での一場面、源氏の武将・熊谷次郎直実が平氏の若武者・平敦盛を討ち取る場面が剣舞として語り継がれてきたものといわれています。

⑥東麓新地馬場棒踊り(野尻町東麓)

朝鮮出兵からの引き揚げ後、島津氏の戦功を祝して領内各地で踊られたさまざまな踊りの一つが棒踊りと伝えられています。その後、家内安全や五穀豊穡を祈願して祭りや行事などで踊り継がれてきました。

⑦細野一区輪太鼓踊り(細野)

朝鮮出兵のとき、島津氏の軍勢が鐘や太鼓を打ち鳴らしつつ踊りながら敵陣に入り奮戦した勇壮な様子を舞踏化したもの。平時の軍事訓練として薩摩藩内で踊られ、江戸中期に農民の間に広まって小林に伝わったとされています。

⑧永田町馬踊り(細野永田町)

明治・大正の頃、谷山(鹿児島市)・国分・隼人あたりから今の永田町へ荷馬車業者が移り住み、そこから伝えられたのが永田町馬踊りの初めと伝えられています。

小林中学校新体操部が 全日本ジュニア新体操選手権大会へ



3年生で主将の大出水さんは、大会に向けて「九州代表として気を引き締め、日頃の練習の成果を発揮してきます」と意気込みました

11月2日、群馬県で11月19日に開催される全日本ジュニア新体操選手権大会へ出場する小林中新体操部（大出水悠主将）が、市長に出場を報告しました。チームは9月30日と10月1日に福岡県で開催された九州地区予選会を勝ち抜き、全国大会出場を決めました。中学校から新体操を始めたという8人。大舞台での飛躍が期待されます。

秋の風物詩すきほぜまつり ほぜっこ相撲に会場にぎわう

11月3日、本庄川河川敷広場で五穀豊穰を祝うすきほぜまつりが開催されました。恒例のほぜっこ相撲には、須木小、東方小、永久津小から約40人が出場。小さな力士たちの手に汗握る熱戦に歓声が響きました。まつり会場では須木地区の特産品や飲食物の販売、ステージイベントなどが催され、多くの家族連れでにぎわいました。



今年から女子の部が新設されたほぜっこ相撲。子どもたちは、地元建設業の人がボランティアで手作りした本格的な土俵で、力と技を競い合いました

4年ぶり開催のシルバーフェスタ 事業の普及啓発と日頃の感謝伝える

10月29日、小林市シルバー人材センター（小久保信雄理事長）が駅横ふれあい広場で「シルバーフェスタ」を開催しました。10月のシルバー人材センター事業の普及啓発月間に合わせ、事業の普及や日頃の感謝を伝えることを目的に開催しているもので、開催は4年ぶり。出店やステージイベントを楽しむ家族連れでにぎわいました。



前日の10月28日には、恒例の奉仕作業を実施。シルバー人材センター会員ら225人が21班に分かれ、市内各地の通学路などの美化作業を行いました

未来を担う子どもたちへ 坂口建設(株)と(株)三共がランドセル寄贈



松岡代表は「昨年はランドセルを受け取った子から手紙をもらい、継続への励みになった。今後も寄贈を続けられるようがんばりたい」と話していました

10月31日、坂口建設株式会社（松岡重孝代表取締役）と株式会社三共（外村公明代表取締役）が市にランドセル4つを寄贈しました。さまざまな理由で生活が困難な世帯へランドセルを贈ろうと平成28年から続けている取り組みで、今年で8回目。ランドセルは、支援団体などを通じて来春から小学校に通う子どもたちに届けられます。

県畜産共進会枝肉の部で (有)馬場牧場がグランドチャンピオン



グランドチャンピオンに輝いた(有)馬場牧場の馬場さん親子（写真右馬場幸成さん、写真左馬場大祐さん）。農林水産大臣賞もあわせて受賞しました

10月24日、(株)ミヤチク高崎工場（都城市）で「第64回宮崎県畜産共進会」の枝肉の部が開催されました。肉質を競う同部には、県内から100頭の肉牛枝肉が出品。審査の結果、有限会社馬場牧場が2大会連続でグランドチャンピオンを獲得しました。また、森田静夫さんが優等6席、大山和夫さんが特別賞（脂質賞）を受賞しました。

栗須保育園民営化に関する協定を締結

10月28日、市と(社福)こばと福祉会（池上あずさ理事長）は、栗須保育園の民営化に関する協定を締結しました。栗須保育園は来年4月1日から民営化予定。移管により同会の豊富な知識や経験が活かされることで、良質で高度な教育・保育の確保が見込まれます。



県人会世界大会参加者が生駒高原を満喫

10月27日～29日、県出身者などをつくる宮崎県人会の世界大会が開かれました。戦前に移住者の多かった南米などを含め国内外に35団体が設置される県人会。28日・29日には参加者計73人がふるさと巡りツアーで生駒高原を訪れ、コスモスの咲く園内を散策しました。



小林中学校でVR（仮想現実）授業 生徒ら先端技術の活用方法を探る

10月23日、24日に小林中で市と連携協定を結ぶ東京大学先端科学技術研究センターの登嶋健太さんを講師に迎えたVR*体験授業が開催されました。登嶋さんは「旅行の疑似体験は介護現場などでもよこばれている」と実際の活用事例を紹介。生徒たちはVR映像を撮影できるカメラを実際に使用し、その活用方法について研究を深めました。



*VRとは、Virtual Realityの略でコンピューターによって創り出された仮想的な空間などを現実であるかのように疑似体験できる仕組みのこと

小林はなまち会がシニアパワー章受章

10月20日、高齢者の知識や経験などを活かした活動を行う団体として、小林はなまち会（松田藤男会長）が「みやざきシニアパワー章」を受章しました。同会は、花があふれる魅力ある地域を目指し、設立以来23年にわたり市内各所で植栽活動を続けています。



9チーム約60人が卓球バレーで交流

10月22日、県卓球バレー秋季大会が中央公民館でありました。卓球バレーは、6人1チームで、音の鳴るピンポン球をバレーボールのように打ち合うもの。障がい者の社会参加促進と参加者が交流を深めることを目的に開かれ、9チーム約60人が競技を楽しみました。



ランタンやミラーボールで装飾 不思議な世界観「まつり仲町」



会場には子どもたちも楽しめるようにと緑日コーナーや、バスケットボールとハンドボールの体験などでもできるキッズエリアも設けられました

11月11日、第2回まつり仲町2023が開催されました。これは、コロナ禍でにぎわいの減った繁華街を盛り上げようと、仲町の飲食店主らが企画したものです。「ネオン街の魔法の時間」をテーマに会場周辺はランタンやミラーボールなどで装飾。飲食物の販売や「歌うま王決定戦」と題された特色あるステージイベントでにぎわいました。

ふれあいの里の資源回収活動に感謝状

社会福祉法人燦燦会ふれあいの里が、アルミ缶リサイクル協会のアルミ缶一般回収協力者表彰で優秀賞を受賞しました。



同施設は市民が持ち込むアルミ缶などの資源を回収・リサイクルする活動を平成4年から実施。長年の活動が評価され、県内で唯一の受賞となりました。

コミュニティ助成事業で備品を整備

野尻地区のみかんやまスマイル会議が（一財）自治総合センター宝くじ社会貢献広報事業「コミュニティ助成事業」の助成を受けて



テントや刈払機、音響機材などを整備しました。助成金は宝くじの受託事業収入を財源とし、全国で社会のために役立てられています。

東方中とこすもす支援学校中学部 パラスポーツで交流を深める

11月7日、東方中学校体育館でパラスポーツ交流会が開かれました。コロナ禍で交流の難しかった東方中学校と小林こすもす支援学校中学部、両校生徒の親睦を深めることを目的に開催。生徒らは9つのグループに分かれ、障がい者スポーツの中でポピュラーな競技、ボッチャとフライングディスクの2競技で親睦を深めました。



当日は東方中学校のPTA参観日にも設定されており、子どもたちから大人まで、地域ぐるみで共生社会への理解を深めました

介護予防などの健康づくりに活用 シン・こばやしパワーアップ体操



参加者らは、講師の萩元博子さんとこすもすの実演に合わせて体操を体験。シン・こばやしパワーアップ体操は市公式 Youtube から視聴できます

11月18日、介護予防活動などの健康づくりを目的に作成した、シン・こばやしパワーアップ体操お披露目会が中央公民館で行われました。体操は日常でよく使う足の筋肉を鍛える動きなどをまとめたもので、理学療法士の協力を得て生活支援コーディネーターを中心としたプロジェクトチームが作成。市内の通いの場での活用が期待されます。

ポスターで健康の大切さと小林市の魅力を表現 健幸のまちづくりポスターコンクールの最優秀受賞者を表彰



写真⑤ 白尾香織和さん、写真⑥ 山下盟母さん

小学生の部最優秀賞



紙屋小学校1年
しらおかりな
白尾香織和さん

中学生の部最優秀賞



野尻中学校1年
やましためい
山下盟母さん

ポスター⑤ 絵を描くのが好きだという白尾さん。大きなハートの中にこすもーや家族、ペットを描きました。「色塗りが難しく、3日かけて描きました。こすもーが特に難しかったです。」

ポスター⑥ 山下さんは小学5年生のときに小学校の部で最優秀賞を受賞。今回は小林市の地図の中に生駒高原やすきむらんど、のじりこびあなどの観光地を描き、その周りを歩く人たちを描きました。「一番工夫したのはままこ滴の水の表現。健幸のために、観光地を楽しみながら歩いてほしいという想いを込めました。」

今年も市内小・中学生を対象に、「健幸のまちづくり」の啓発ポスターコンクールを開催しました。同コンクールは、生活の基本となる「健康」の重要性について自ら考え、健康づくりへの積極的な取り組みを啓発するために実施。今年度は596点（小学校326点、中学校270点）の応募があり、健康の大切さと小林市の魅力を力強く表現した入

賞作品20点を選出しました。

11月1日には表彰式が開かれ、最優秀賞の2人（小学校の部・中学校の部から各1人）が表彰されました。入賞作品は小林市総合文化祭などで展示されたほか、最優秀作品については、今後「健幸のまちづくり」の啓発用ポスターとして市内公共施設などに掲示し活用されます。

すきむらんど周辺で地質など歩いて学ぶ

11月3日、須木地区のすきむらんど周辺で「霧島ジオ散歩」がありました。須木地区で認定地域が重なる霧島ジオパークと綾ユネスコエコパークの連携で開かれ、参加者12人はガイドと一緒に歩き、解説を聞きながら、植生や地質について学びました。



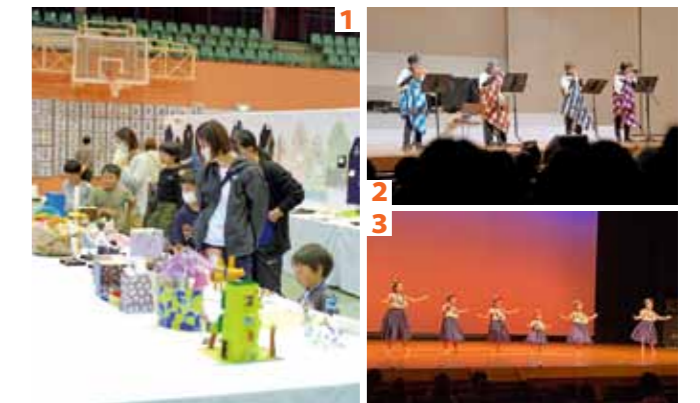
ハーブを使ったグルメなど満喫

11月5日、ハーブを身近に感じてもらうと、野尻地区の葉草・地域作物センターで「NOJIRIハーブマルシェ」が開かれました。令和元年開催の「ハーブ祭」から名前を改め4年ぶりに開催。来場者は、ハーブを使ったグルメやハーブ園の見学などを楽しみました。



文化の秋に日頃の活動の成果を発表 芸術の祭典「小林市総合文化祭」

10月29日、11月3日、4日、5日に、市総合文化祭が文化会館、中央公民館、市民体育館、野尻町農村環境改善センターで開催されました。絵画や書道などが並ぶ作品展や、芸能祭、音楽祭などが行われ、参加者は日ごろの活動の成果を披露。期間中は延べ5千人以上が会場を訪れ、作品や音楽、芸能などをおとして文化の秋を堪能しました。



1 市民体育館で作品を鑑賞する来場者 2 ハーモニカや吹奏楽の演奏などが行われた音楽祭 3 フラダンスや日本舞踊などが披露された芸能祭

募集

わけものの主張
意見発表者募集

◆年齢要件

平成6年4月2日〜平成20年4月1日に生まれた人

◆発表内容(5分程度)

有権者・未来の有権者として、政治や選挙について考えていること、感じていること、求めていること。演題は自由。

◆開催時期

来年1月に小山市で開催

◆申込締切

12月22日(金曜)

◆申・問

選挙管理委員会事務局
TEL 23・1143

講座・催し

須木生涯学習講座・
中央公民館講座募集

須木生涯学習講座
はじめてのスマートフォン講座

スマホを安心・安全に。機能も使いこなそう。

◆日時(各木曜)
①1月18日、②2月15日
13時〜15時30分

◆場所

須木総合ふるさとセンター

◆内容

①はじめてのスマホ安心、安全に使う、②インターネット・カメラ機能を使う

◆定員

15人

◆申込締切

令和6年1月4日(木曜)

中央公民館講座
楽々脳トレ講座

脳トレで、今日よりも明日を元気に!

◆日時(各木曜)

①1月11日、②2月8日
10時〜11時30分

◆場所

中央公民館

◆定員

20人

◆申込締切

12月25日(月曜)

中央公民館講座
新発見SDGs講座

これからの時代に向けて私たちの生活を考えましょう。

◆日時

1月17日(水曜)
10時〜11時30分

◆場所

中央公民館

◆定員

30人

◆申込締切

12月25日(月曜)

中央公民館講座
ものづくり講座

◆内容

①あずま袋づくり、②切り絵

◆日時

1月19日(金曜)
9時30分〜12時

◆場所

中央公民館

◆定員

①②とも各10人

◆申込締切

12月25日(月曜)

中央公民館講座
人権講座

やさしさでつながる輪

◆日時

1月30日(火曜)
10時〜11時30分

◆場所

中央公民館

◆定員

20人

◆変更申請の要件

農用地(青地)を除外するときは、具体的・緊急的な事業計画があり、法律に定められた要件を全て満たす場合に限り申請が可能です。

令和6年度中の変更申請受付を中断する予定です

市農業振興地域整備計画の全体見直しを、令和5年度〜令和7年度にかけて実施します。それに伴い、令和6年度中の変更申請の受け付けを中断する予定です。

◆ご注意ください
住宅の建築や太陽光発電施設の設置などを計画している人で令和6年・7年中に着工予定の人は、令和5年12月末までに申請をお願いします。

◆申・問・農業振興課

TEL 23・0300

須木庁舎地域振興課

TEL 48・3131

野尻庁舎地域振興課

TEL 44・1100

◆新春賀詞交歓会

◆日時

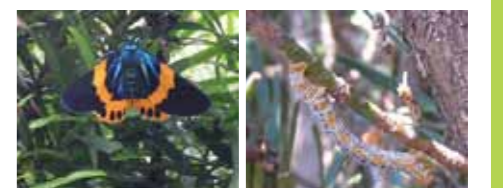
令和6年1月4日(木曜)

庭木の葉などを食べて枯れさせる キオビエダシャクにご用心!

ガの仲間、幼虫の間に庭木の葉などを食べて枯れさせる「キオビエダシャク」が、春先から秋の終わりまで発生しています。

特徴・生態

黒地の羽にオレンジの帯模様が特徴。年最大4回、5月頃から12月頃まで卵(10日間・木の皮の隙間)、幼虫(1カ月間・庭木)、さなぎ(2週間・浅い地中)、成虫(2週間・庭木〜空中)の周期で繰り返し、特に幼虫の時期、庭木のイヌマキやラカンマキ、ヒトツバなどの葉を食べ、枯れさせます。



駆除方法

サナギの時期に木の根元を掘って捕まえるか、幼虫の時期にホームセンターなどで売っているトレボン乳剤、ロックオンなどの薬剤を撒いて駆除してください。

◆申・問 生活環境課 TEL 23-8122

◆申込締切
令和6年1月16日(火曜)

◆共通事項

◆対象 市内在住・在勤の人

◆費用 各講座とも無料

◆申込方法 窓口か電話

◆申・問・社会教育課

TEL 22・3482

テナムの学校
ココロとカラダを整える 第三回

こばやし健康ポイント連動企画。働く人のココロとカラダの健康に効く講座です。整骨院を経営する講師による姿勢講座で、簡単にできるストレッチを解説します。日常的に意識し、姿勢改善!

◆日時 12月11日(月曜)
18時30分〜20時

◆講師 シン・トータルボディケア

◆場所 整骨院 山本新院長

◆対象 T E N A M U 交流スペース

◆定員 15人

◆費用 500円

◆申込方法 窓口か電話

◆申・問 T E N A M U 交流スペース

TEL 22・1076

T E N A M U 交流スペース
オープン6周年
記念イベント開催

地元アーティストなどのステージイベント、パンやコーヒーなど屋台での販売、カフェオリジナルメニューやキッズ縁日など、内容盛りだくさんでお待ちしております。

◆日時

12月10日(日曜)
12時〜19時

◆場所

T E N A M U 交流スペース

※特設駐車場(上田内科駐車場)を利用ください

案内

農振除外などの申請を受け付けます

◆受付期限

12月28日(木曜)

◆申請書配布・申込窓口

農業振興課/須木庁舎地域振興課/野尻庁舎地域振興課

◆入場料 無料
◆申・問 T E N A M U 交流スペース
TEL 22・1076

お持ちの空き家・空き地 空き家バンクに登録しませんか?

市内の空き家・空き地を有効利用し、UIJターンによる定住などを希望する人へ空き家・空き地の情報を提供する「空き家バンク制度」を実施しています。市内の空き家・空き地を有効活用したい人は、ぜひ制度をご利用ください。

対象

市内の空き家・空き地(空き家又は空き地となる予定のものを含む。)に係る所有権やその他の権利により、当該空き家等の売買、賃貸等を行うことができる人。
※不動産会社に取り依頼していない空き家等に限り



◆申・問 地方創生課 TEL 23-1148

宮崎県最低賃金が 897円に改定されました

宮崎県の最低賃金が本年10月6日から「時間額 897円」に改定されました。最低賃金は臨時、パート、アルバイトを含む県内で働くすべての労働者に適用されます。

◆問 宮崎労働局労働基準部 TEL 0985-38-8836

●納付・納税・年金 ほけん課 Tel 23-0116 税務課 Tel 23-0115 市民課 Tel 23-1112

種類	月日	場所	時間	備考
休日納付・納税相談窓口	12月17日(日)	ほけん課・税務課窓口	8:30～17:15	※毎月第3日曜日
年金移動相談 ※要予約	12月21日(木)	市役所本館1階相談室	10:00～15:00	予約:都城年金事務所

※年金移動相談は、感染症予防のため休止になる場合があります。事前に都城年金事務所(Tel 0986-23-2571)に確認ください

二原遺跡公園公開日

12月17日(日曜)
時間 9:30～11:30



農地移動申請

場所 農業委員会事務局
時間 9:00～17:00
受付開始日 12月6日(水曜)
受付締切日 12月12日(火曜)

税・保険料の納付期限

※納期限は12月25日(月曜)です

固定資産税・都市計画税	4期
介護保険料	7期
国民健康保険税	6期
後期高齢者医療保険料	6期

これは何ごみ? 答え

剪定枝(直径5㍓以下)は
『燃やすごみ』

集積所に出す場合、長さ60㍓以内に切り、ひもなどで直径30㍓以内に束ねて『燃やすごみ』で出してください。枝の太さが直径5㍓を超えると『処理困難ごみ』となり、市は回収しません。

※処理困難ごみは虎の巻22～23㍓参照

●問=生活環境課 Tel 23-8122

●人権・行政・なやみごと相談 市民課 Tel 23-1141

月日	曜	種類	会場	時間
12	12	火	人権・行政・なやみごと	10:00～15:00
	19	火	人権・なやみごと	
1	4	木	人権・行政・なやみごと	10:00～15:00
	9	火	人権・行政・なやみごと	

ひとりで悩まずお話しください

◆こころの電話相談 毎週月曜 20:00～22:00 ●問: NPO 法人こぼやしハートム ☎27-1850	◆宮崎いのちの電話(年中無休) 月・水・金 21:00～(翌朝)4:00 日・火・木・土 18:00～(翌朝)4:00 ●問: NPO 法人宮崎いのちの電話 ナヤミココロ ☎0570-783-556
---	--

その他の相談会や集い(参加希望者は事前に連絡ください)

小林保健所の相談会(場)小林保健所(問)23-3118	小林こすもす家族会
▼アルコール家族教室(アルコールで悩む本人・家族) ☎ 毎月第2火曜 時13時30分～15時30分	精神障がい者とその家族の悩み や思いを一緒に話ませんか ☎ 毎月第2水曜 時13時30分～15時30分
▼ひきこもり・こころの健康相談 ☎ 毎月第4火曜 時13時30分～15時30分	場)市民活動支援センター 問)Tel 080-6423-5858
▼わかちあいの会(自死遺族のつどい) ☎ 第4木曜 時13時～15時	

リサイクル日程

生活環境課 Tel 23-8122
小林市清掃工場 Tel 24-0959
須木住民生活課 Tel 48-3132
野尻住民生活課 Tel 44-1100

区	12月	1月
水流迫、東方1・2	1	9
真方1・2・3	4	5
南西2・3、通り町	5	10
南西1の西、南西4本町、新生町	6	10
南西1の東、種子田	7	11
北西1・3、緑町	8	12
北西2、坂元	12	16
西町1・2・3南島田	11	15
仲町、永田町、後川内	13	17
細野2・3、南真方	14	18
細野1、南真方西	21	25
南真方東上町・上町西	22	26
上町中、上町東上町北	26	30
西堤、南堤	27	31
北堤	28	31
野尻地区(第3日曜)	17	21
須木地区(第4日曜)	24	28

今月のこれは何ごみ?



「剪定枝」
(答えは左のページ)

●育児・親子健康日程

問: こども課 Tel 23-4319

種類	月日	時間	会場
妊婦健康相談 母子健康手帳発行	毎週月曜 (祝日除く)	受付 9:00～11:30	小林市保健センター
赤ちゃん健康診査	12月21日(木)	※個別に案内しています	
3歳児健康診査	12月14日(木)		
歯っぴ〜教室 (要予約)	12月12日(火)	受付 13:00～13:30	
もぐもぐクッキング (要予約)	12月20日(水)	受付 13:45～14:00 開催 14:00～15:30	

●ここにこ運動教室(13:30～15:30)

問: 社会福祉協議会野尻支所 Tel 44-1206

場所	12月	1月
野尻町保健福祉センター	12日(火)、19日(火)、26日(火)	9日(火)

●健康相談

問: 健康推進課 Tel 23-0323

月日	曜	種類	会場	時間
平日(祝日を除く)		健康相談 (体組成計・血管年齢測定)	小林市保健センター	8:30～17:15 (要予約)
12	14	木	まちなか松栄 イトインスペース	13:30～15:30
	19	火	まちかど健康相談 コープみやざき 小林店	
	28	木	まちなか松栄 イトインスペース	

日曜祝日在宅当番医(原則として9時から17時)

月	日	曜	在宅医	電話番号
12	10	日	ほりファミリークリニック	23-3988
			押川病院	44-1005
	17	日	小林泌尿器科クリニック	25-0505
			整形外科前原病院	23-1711
	24	日	池田病院	23-3535
			小林保養院	22-2836
31	日	よしむら循環器内科クリニック	27-3339	
		くすもと内科クリニック	23-1115	
1	1	月	野尻中央病院	44-1141
			上田内科	23-3377
	2	火	立山整形外科医院	22-1717
			ひろた内科クリニック	25-0550
	3	水	池井病院	23-4151
			西小林診療所	27-1034
7	日	沖内科・小児科医院	22-4043	
8	月	宮崎医院	22-2841	

やっばい

元気がよか！

問 長寿介護課 Tel 23-1140

小林市立病院
言語聴覚士 湯浅 克彦

歯の健康は皆さんの生活に大きな影響を与えています

歯の噛み合わせが悪いと、体の重心をずらしてバランスを取ろうとします。

身体のパランスや運動機能にも関係

歯は、食べ物や噛むこと以外にも重要な役割があることをご存じですか。歯は、話す時に舌や唇と協力して発音する役割も果たしています。歯が抜けると、発音がはっきりしなくなる場合があります。特に前歯は、「サ行」「タ行」「ラ行」などの発音に大きな役割があります。前歯がなくなると、それらの発音がしにくくなります。発音が不明瞭になると、何度も聞き返されることで話す意欲が失われ、家族や友人とのコミュニケーションが減少する可能性があります。その結果、一人でいることが増え、認知機能の低下を引き起こすことにもつながります。

噛む以外にも重要な役割が「歯と認知機能の関係」
歯は、食べ物や噛むこと以外にも重要な役割があることをご存じですか。歯は、話す時に舌や唇と協力して発音する役割も果たしています。歯が抜けると、発音がはっきりしなくなる場合があります。特に前歯は、「サ行」「タ行」「ラ行」などの発音に大きな役割があります。前歯がなくなると、それらの発音がしにくくなります。発音が不明瞭になると、何度も聞き返されることで話す意欲が失われ、家族や友人とのコミュニケーションが減少する可能性があります。その結果、一人でいることが増え、認知機能の低下を引き起こすことにもつながります。

歯の噛み合わせが悪いと、体の重心をずらしてバランスを取ろうとします。

歯の噛み合わせが悪いと、体の重心をずらしてバランスを取ろうとします。歯の噛み合わせが悪いと、体の重心をずらしてバランスを取ろうとします。歯の噛み合わせが悪いと、体の重心をずらしてバランスを取ろうとします。

歯の噛み合わせが悪いと、体の重心をずらしてバランスを取ろうとします。歯の噛み合わせが悪いと、体の重心をずらしてバランスを取ろうとします。



福祉情報をお届けします 社協タイムズ

ひとりで抱えず誰かに話してみませんか 「SNS 福祉まるごと相談」と「社協 LINE 相談」

社会福祉協議会では、福祉総合相談窓口を開設し、どこに相談していいかわからないような多様な悩みに対応しています。

社協の相談室で話を伺うほか、電話での相談や自宅などへの訪問も可能です。

なかには、外に出られない人、人に会うのが苦手な人、匿名で相談したい人、夜しか時間が取れない人など、さまざまな事情を抱え、電話や対面での相談が難しい人も多いかと思えます。

相談窓口に来られない人ほど、深刻な悩みを抱えている場合もあります。また、「こんなこと人に聞いていいのかな」とちょっとした困りごとを抱えている人もいます。

そのような場合に、まずは匿名で携帯やパソコンを通じて相談できる。そんな相談窓口が、「SNS 福祉まるごと相談」と「社協 LINE 相談」です。

相談については守秘義務がありますので、安心して書き込みください。一人で抱えずに一緒に考えましょう。

SNS 福祉まるごと相談

パソコン・携帯電話から

小林市社協相談 SNS



「小林市社協相談 SNS」と検索

または



右 QR コードから

社協 LINE 相談

下記 QR コードから友だち登録



- 相談投稿は 24 時間受付できます。ただし、業務の都合上即対応できない場合があります。相談対応時間 月曜～金曜 9時～16時
- 緊急を要する場合は下記までご連絡ください
- 市内在住・在勤及び家族が市内在住の人に限りです

問 小林市社会福祉協議会 Tel 23-3466

元気の知恵袋

問=こども課 Tel 23-4319

感染対策の基本は「手洗い」です！

手洗いのポイント

- POINT 1** 流水で汚れを流してから石けんをつける
- POINT 2** 正しい洗い方で手を洗う
※手順は右 QR コードから確認ください
※指先、手のしわ、親指、指の間などは洗い残しがあるため、注意して 30 秒程度かけて洗いましょう
- POINT 3** 外出先からの帰宅時、調理前後、食事前など、こまめに手を洗う
- POINT 4** 手は濡れたままにせず、ペーパーや清潔なタオルで十分に水分を拭き取る



感染症が流行しやすい冬 一人ひとりが感染予防を
寒くて乾燥する冬はウイルスが活発になるため、かぜやインフルエンザ、感染性胃腸炎などの感染症が流行しやすい時期です。また、寒さで体温が下がると免疫力も低下しやすくなるため注意が必要です。「感染しない、感染させない」ために、一人ひとりが感染予防に努めることが大切です。

正しい手洗いで感染予防
基本的な感染対策として大切なのは「手洗い」と言われています。人は無意識のうちに自分の目や口、鼻を触っているため、手についた細菌やウイルスが体内に入り、感染する可能性があります。正しい手洗いをして、感染予防に努めましょう。



1日 350g の野菜摂取で

ベジ活！

健康のために、必要な野菜の摂取量は1日 350g。しかし、宮崎県民の摂取量は平均 278g と約 100g 不足しています。毎日の生活に野菜を 100g プラスして、健康な毎日を送らしましょう！

問 健康推進課 Tel 23-0323

年末年始も「ベジ活」を忘れずに！

年末年始はおいしい食事やアルコールを摂取する機会が増える時期。楽しい食事は心身ともにいいことですが、生活や食事が不規則になったり、暴飲暴食になりがちです。

普段運動している人も、寒さでさぼりがちになっていませんか？この冬は、「ベジ活」で早めに正月太り対策をしましょう。

ごちそうはカロリーが高い物が多いうえ、楽しい雰囲気がつい食べ過ぎ・飲み過ぎてしまいます。そんなときは、野菜を食べることで摂取カロリーを抑えることができます。さらに、ベジファースト（先に野菜を食べること）で食後の血糖値の上昇も緩やかになります。

冬が旬の野菜は、白菜やほうれん草、大根、

ごぼう、人参、ブロッコリーなど。お雑煮や鍋は旬の野菜をたくさん入れることで、不足した野菜を手軽に補えるメニューになります。

また、毎日体重計に乗ることも、日々の変化に気づくことができ、増えた原因を振り返って自覚できるのでおすすめ。元旦には早起きして初日の出を拝みにったり、初詣は三社参りで歩く機会を増やすのもいいですね。



クックパッドに野菜レシピを掲載しています。「クックパッド 小林市」で検索して、ぜひ作ってみてください。

図書館からのお知らせ

★新刊本の入荷
は毎週土曜

～児童書～



『コールテンくんのクリスマス』
原案：ドン・フリーマン、
作：B.G.ヘネシー
絵：ジョディー・ウィーラー
訳：木坂 涼
発行：好学社

～一般書～



『我が家のおせち【決定版】』
著者：有元 葉子
発行：東京書籍



クリスマスにちなんだ絵本の読み聞かせ、フルート演奏、ペンダントシアターなどを行います。参加した子どもたちにはサンタクロースからのおみやげもあります。

野尻分館 12月16日(土曜)

■時間 17時～18時 ■定員 30人

小林本館 12月17日(日曜)

■時間 13時30分～14時30分

■定員 60人

※必ず事前に図書館カウンターか電話で申し込みください。定員になり次第締め切ります

年末年始の休館

12月29日(金)～1月4日(木)は休館します
※館内整理日による休館を含みます

休館と開館時間

【本館】毎週月曜は休館

開館時間 9時～19時 ※日曜と祝日は17時まで

【須木分館】毎週月曜と祝日は休館

開館時間 9時～17時

【野尻分館】毎週月曜と祝日は休館

開館時間 10時～18時30分 ※日曜は17時まで

毎月1日は館内整理日のため全館(本館・須木・野尻)休館



地元の事業者と連携した商品を開発しています

小林まちづくり株式会社
〒886-0008
小林市本町16
8時30分～17時30分
(土日祝日除く)
Tel 27-3280
Fax 27-3257

小林まちづくり株式会社では、市内の生産者・事業者・販売者をつないで、新しいお土産や特産品の開発に取り組んでいます。今年、「KOBAMACHI ICECREAM」と「鯉が恋したクッキー」の2商品を開発しました。小林産フルーツなど地元の素材にこだわったアイスクリーム「KOBAMACHI ICECREAM」は、現在までにいちご味やブルーベリー味、コーヒー味などを販売し、新たに栗味を発売予定です。秋に発売したばかりの「鯉が恋したクッキー」は、出の山淡水魚水族館で人気のコイのえさやり体験のえさに似せたクッキーです。



写真⑤ 地元の素材にこだわった「KOBAMACHI ICECREAM」、写真⑥ コイのえさそっくりのクッキーが入った「鯉が恋したクッキー」



パッケージはコイがクッキーを食べているデザインで、中身のクッキーは小林産の小麦粉、落花生、お茶を使用し、須木地区の洋菓子工房プチパリ様に特別に焼いていただいています。種類は、実際のえさの色の茶色と深緑色に似せて、チョコ・ビターチョコ・お茶の3種類です。淡水魚水族館に行かれた際は、えさやり体験とクッキーの両方をお楽しみください。小林の活性化につながる商品と一緒に開発しませんか？

新型コロナワクチン接種のお知らせ

●問=健康推進課 Tel 24-5007

新型コロナワクチン接種を無料で受けられる期間は、令和6年(2024年)3月31日までとなっています。

年末年始にかけて感染拡大が心配されることに加え、医療機関によっては無料接種期間の終了が近づくにつれて予約が難しくなる可能性があります。

接種を希望する人は、早めの予約をお願いします。



▶「令和5年秋開始接種」の詳細はコチラ(市ホームページ)

Carbon豆知識

市は2050年までに二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言しています

ダイヤモンド・リスポンス(DR)

消費者が電気の使用量を抑えたり、ピークシフト(電気を使う時間をずらす)することを、『ダイヤモンド・リスポンス(DR)』といいます。

電気を安定して供給するためには、電気をつくる量(供給)と電気の消費量(需要)が同じ時に同じ量になっている必要があります。しかし、近年さまざまな要因で、需要が多い時期には電力需給が逼迫する一方で、需要が少ない時期には供給が過剰になり、電気が余るといった状況も発生しています。

そうした状況の中、エネルギーの需要(消費者)側が供給状況に応じて賢く消費パターンを変化させるDRの重要性が高まっています。近年、多くの電力会社は、電気の使用が増えると見込まれる時期が来る前に、消費者へDRに協力することで特典を付与する節電プログラムへの参加を呼び掛けています。

電気料金が高騰し家計を圧迫する今、節電プログラムに参加してDRしてみませんか。興味のある方は、契約されている電力会社のホームページまたは問い合わせ先へお尋ねください。

●問=生活環境課 Tel 23-8122

行ってみよう! やってみよう!

お出かけガイド

こばやしの冬を楽しむイベント情報

小林駅周辺を鮮やかに照らす

イルミネーション点灯情報



今年もJR小林駅周辺を会場に、色鮮やかなイルミネーションが小林の夜を彩ります。

●期間=11月23日(木曜・祝)～令和6年1月12日(金曜)

●時間=17時30分～21時

●場所=JR小林駅周辺

●問=商工観光課(Tel 23-1174)

新春恒例の行事が復活

消防出初式・消防防災フェスタ



消防出初式と消防防災フェスタを4年ぶりに開催します。

●日時=令和6年1月7日(日曜)10時～13時

●場所=文化会館

●内容=各種体験(ホース展張、防火衣着用など)、車両展示、スタンプラリーなど

●問=危機管理課(Tel 23-1175)

第26回みやぎきツデーマーチ

こばやし霧島連山絶景ウォーク

霧島連山の絶景を望みながら歩きませんか。コース途中では、あたたかいおもてなしもあります。

●日程=令和6年2月24日(土曜)、25日(日曜)

●場所=中央ふれあい広場

●コース=30キロ、20キロ、10キロ、5キロの4コース

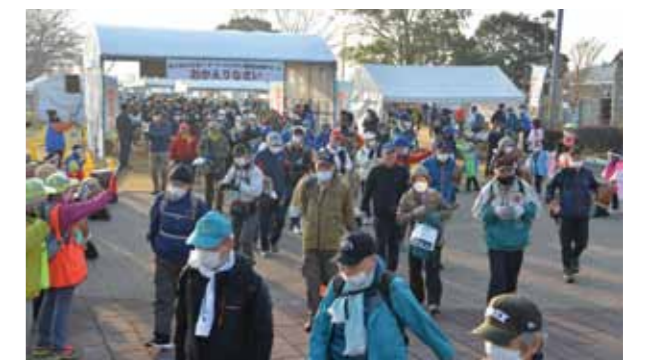
●参加料(西諸管内特別割)=一般1千円/小中高生500円/未就学児無料

●申込方法・場所=以下の窓口で申し込み
観光案内所(KITTO小林1階) / 商工観光課 / スポーツ振興課(市民体育館) / 健康推進課(保健センター) / 須木庁舎地域振興課 / 野尻庁舎地域振興課

●申込締切=令和6年1月31日(水曜)

●その他=スポーツ振興くじの助成を受けて開催

●問=商工観光課(Tel 23-1174)



画：友安よーいち

第112話「こすも〜ばっかいずりど！」



広報紙へのご意見・ご感想をお気軽にお寄せください



読んだ感想や、こんな情報が知りたい、この人取材してほしいなどのご意見を、QRコードからお寄せください。

心の花びら

痛み去り味噌汁の香や今朝の秋（小林合歓の会 尾辻和子）
 大花野響け花いちもんめかな（小林合歓の会 倉田玲子）
 秋うつにだれかれ為しにメール責め（小林合歓の会 入佐典子）
 行きずりの甘き香の風稲架日和（小林合歓の会 後野美美子）
 木枯らしは刈田を抜けて山眠る（東脇哲郎）
 鯉の季節釣るにはエサはさつまいも（長友正臣）
 古の流浪の民の築きたる楽園は今血にまみれゆく（佐枝記子）

SUKU SUKU

ぬくみずこのは 温水心乃華 ちゃん
 令和元年7月30日生



お転婆で自由奔放の心乃華です。これからは明るく元気に育ってほしいです。
 保護者：温水真悟、実紀

すくすく募集中！

【申・問】
 ・企画政策課 TEL 23-0456



申し込みはコチラ！

もりなが えな 森永 咲那 ちゃん
 令和5年7月20日生



うちの可愛い子ぐまちゃん？元気に育ってね。ばあばより
 保護者：森永龍斗、詩朋

<編集後記>

今月は子育て特集です。取材先で感じたのは、子育てに関わる人たちのにこやかな表情。地域ぐるみの子育てが進むことで、この笑顔の輪が広がるとうれしいです。（榎田）

郷土芸能フェスティバルを初めて取材しました。多様な踊りや鐘の音など迫力があり、写真の撮りごたえがありました。少しでも迫力が伝わるように記事（12頁）を作成しましたので、ぜひご覧ください。（前原）

ハッピンコバヤシ info

小林愛を身に着けよう

「KOBAYASHI CITY」ロゴの利用が広がっています

蛙亭・イワクラさんや、THE RAMPAGEの吉野北人さんら“こばやしスペシャル PR 大使”に贈呈されるグッズに使われている「KOBAYASHI CITY」ロゴ(画像右上)。このマークを利用したいという多くの声を受けて、ホームページでデータを公開しています。条件が合えば個人・商用利用可能です。団体・企業でぜひ利用し、郷土愛をアピールください。

ロゴ利用の詳細については、市ホームページでご確認ください。QRコードを読み込むと詳細ページを閲覧できます。



(写真左) 夏休みに行われた能登町友好使節団では、生徒やスタッフのユニフォームとして利用。(右)「KOBAYASHI CITY」ロゴマーク。何に使うかはアイデア次第です

ハッシンコバヤシ!! 行政視察を相次いで受け入れ



市民や出身者と一緒に魅力ハッシンに取り組む2年間の実績が評価され、行政視察の依頼が増えています。写真は、埼玉県本庄市議会(市議団未来・市議団きせき)の皆さん



一緒に小林のよかところをハッシンしよう！投稿写真から数点を広報紙で紹介します

Instagram & 広報こばやし #ハッシンコバヤシ

「ハッシンしたい小林の魅力」を写した写真に「#ハッシンコバヤシ」のハッシュタグを付けて、Instagramに投稿しませんか。市内で撮影したものであれば、景色、日常風景なんでもOK。



詳細はコチラ▶

@sumi.ari さん



#霧島連山 #掛稲 #トラクター

@t_he_j @ さん



#霧島峯神社 #宮崎観光 #九州観光

@me_em711 さん



#奥之浦川大滝 #夫婦滝

人のうごき (小林市の人口)

人口	41,950人	(-7, -595)
男	19,566人	(+6, -287)
女	22,384人	(-13, -308)
世帯	19,146世帯	(+3, -45)

令和5年11月1日現在現住人口 (前月比、前年同月比)
 現住人口：国勢調査人口(実際に居住している人口)をもとに、その後の転入・転出、出生・死亡などを増減して算出する人口。

火災・救急発生状況

種別	10月	累計	昨年
建物	2	10	+1
林野	0	2	-1
車両	0	0	-2
その他	0	8	±0
救急	173	1,936	+153

交通事故発生状況

種別	10月	累計	昨年
人身	6	104	-1
物損	78	758	+17
死者	0	1	-3
負傷者	10	131	+18
全国死者	2,124	(昨年同月比 +46)	



年末詣・初詣
日本神話の郷 **霧島岑神社**

小林市細野 (夷守) 4937 社務所 Tel 0984-23-0855
(細野中より南へ1.2km 直進) 宮司携帯 090-3735-9954

九州355インテリアグループ ●営業時間：朝8時～夜7時

(有)やすかた豊ふすま店

小林店 〒886-0007 小林市真方384-10
TEL 0984-22-4566
FAX 0984-27-4566

都城三股店 〒889-1914 三股町蓼池字前ノ村4178
TEL 0986-36-3820
FAX 0986-36-8621

通話料無料 (フリーダイヤル)
0120-18-4566
お電話下されば見積りに伺います(無料)

MIYAUCHI (有)宮内葬儀社

0120-24-2349

小林市細野 437 番地 4 (市役所前)
TEL 0984-22-2349

西町斎場・上町斎場・ラウム会館

倉菌牧場直営店
beef kurazono

変わらぬおいしさ、更なるおいしさ・・・
ハレの日は ビーフックくらそので。
※ご予算に応じて8,000円～ご予約賜ります。
TEL 0984-24-1515
E-mail info@beef-kurazono.com

目と耳の健康を守るために、当店の専門員が
あなたに合ったメガネと補聴器をご提案します。

メガネ と 補聴器

メガネの光学堂
小林補聴器センター

小林市本町 102 本店:☎0984-23-3036 本町店:☎0984-23-7535

和田クリニック
人工透析センター

超純水透析液を使用した質の高い透析治療
最新機種(全自動透析装置)を用いた安心・安全な透析

送迎応談・随時見学可

☎23-5653/Fax22-5142
〒886-0003 小林市堤 3727 番地 1
<http://wada-clinic.or.jp/> 和田クリニック

トラクター・重機
トラック・農機具

見積り無料
どこでも
かけつけます!

古くても、壊れてても、不動車でも

どよりも **高く買い取る** ことを目指
しています!!

広報誌を見て、ご連絡下さった方へ粗品、
又は買取額 10%UP 致します。

TEL:0986-77-9092

農機具高価買取専門店 古物商許可 第951040015111号
アヴァンティ 携帯:080-3375-9750
FAX:0986-77-9092
<https://kaitorimiyazaki.jimdo.com>

K 株式会社 **こさの印刷**

小林市梅の天神下(山麓線)
TEL.(0984)27-0050(代)
FAX.(0984)27-0051
E-mail:kzn.o@abelia.ocn.ne.jp

広報こばやしでは、収入確保対策として有料広告を掲載しています。
広告内容は市が推奨するものではありません。掲載している広告の内容などへの問い合わせは、直接広告主へお願いします。